

改題

# 土楽たより

どうらく

Kogure 農場 2月号 (NO22)

2012年2月10日 (金) 発行

## 【農暦】3日には豆まきをした！

○2月に入り、日本海側は30年振りの大雪“で笠間でも23日夕より初雪が降った。関東でも雪に慣れていないため転倒事故のニュースが流れた。日本海側では雪おろしなどで死亡事故が多発している。毎回同じ様な事を書いているが、気候が極端になっている。気候のことなど枕言葉の様によく書くのは直ぐ忘れてしまうので自分の記録として残したいからでもある。東北

大震災から間もなく11カ月になるが自然の脅威は人災も絡みいろいろな所で起っている。自然との関わりはいつもながら大事にしなくてはならないと思っている。時季折々の祭りや行事には、先人が自然との関わりの中で育まれた、いろいろな意味が込められていたのであろう事が、今に残されたのだと思う。だが、生活様式の変化などで形骸化され、その意味も実感も無くなっているものが多い。東北大震災の津波の事実を後世に残す活動をニュースで聞いたが大事なことだと思う。祭りや行事に先人が残してくれたものと重なるものがあるように思える。先人の生活のあれこれを想い馳せるのもわるくはない。

○深く考えてはいないが、こんな思いもあって、節分の3日には豆まきを柏の家で行った。家のイベント作りも兼ねて恒例にして来た。ここ数年は豆だけでなく、恵方巻きも食べている。今年は、北北西の方角に向かって祈りながら食べると良いと云う。最近では関西だけでなく関東でも行われる様になったとラジオで伝えていた。

○”孤族の日本“という新聞の見出しの記事があった様だが、独身、独居老人、単身赴任、単世代家族など多くなっている。時には孤も大事であるが、つるむ事も群がる事もしなくなって来た。震災後は”絆“が叫ばれ、不安からか？結婚する人が増えたと云う。4日に行われた茨城大卒論発表会でのアドバイザーの講評の中にもあったが、個食、欠食、固食、孤食で コケココー症候群（天声人語にも載った）と云われる食生活が一般化しているようである。”個別に、食べずに、固まり（インスタント）を、ひとりで食べる”である。”孤“の生活様式は広がるばかりである。

○いつの間にか、欠食を除いて、すべてに当てはまる食生活になって来ている。祭りやイベントでは大勢で、家族揃って、になるので、そんな機会は多い方がいいと思う。私は祭



＜雪の薄化粧の我が家＞。初雪1月24日の朝。雪の事故が多発しているのに、不謹慎にも？何んとなく嬉しくて。

りやイベントが好きである。飲み会も好きである。人類は群れて生きて来たと言う。人類の本能に逆らわず、つるむ事も群がる事も大事にしたいものである。祭りやイベントには、努めて参加したい。新年会は1月で終わったが、未だOB会や個人的な飲み会が続く。”友遠方より来るまた楽しからずや“ではないが、農閑期の今は、優先してしたい事の1つである。

### 【楽農】寒起し待ち！

<ハウス> ;無し

<畑A> ;大根、白菜、ネギを自家食材として収穫。

<畑B> ;ヤーコン収穫

### 【楽市】イベント交流・直売など

#### ○グリーンジム本戸倶楽部

(1月15日) 次回は2月20日

グリーンジムのメンバーを中心に、ピッコロファーム楽農楽市(ピッコロファームの会)の発足を決め、担当分担、年間計画などを確認した。懇親会にはオブザーバーも加わり鍋や野菜料理の美味と美酒で、これからを話合った新年の会になった。

\*作業はトラクター車庫の幌の綱張り直し、ヤーコン堀

\*“いきいき市場”の出店は同日で、たい焼きと黒豆、小豆、ヤーコンを行った。売上は今一つであった。

#### ○笠吟連の新年会(21日)

初春恒例の懇親の宴を合吟、吟詠などで楽しんだ。

#### ○柏りボン館 講師・運営委員会 交流会29日

活動の継続、拡がり、講師後継者問題(流山は養成実施)など話された。課題もあるが深みと拡がり出て来ている様だ。

#### ○茨城大卒論発表会4日

恒例の会に参加した。机上でなく実地に基づいた発表が多く、興味深く聴かせて貰った。常陸大宮の和紙などの連携活動の発表もあった。大学の地域連携は大分前から叫ばれているが、まちづくりにとって大事な要素である。柏では千葉大、東大などと地域連携の活動は多い。笠間もこの活動を契機いろいろ出来れば良いと思う。

### 【つぶやき=Tweet】楽しく学びたい？

○一期一会も飲み会も昔から大事にと心掛けています。飲み会は少なくなっているが、最近ではチョット増えているように思える。27日には、ラグビーOB会の新年会に出た。昨年と



<干しヤーコン>大根と一緒にヤーコンを乾燥干し作る。24日に作ったもの干し芋に似て美味。2日に再チャレンジする。



<支柱などの資材棚>グリーンジムの竹林の整備をした時の竹を使ってMさんに作って頂いた。16日撮影。

同じ銀座の店で開かれた。有楽町の駅を出たところで、名古屋の河村市長が街頭演説をしていた。市民税5%減税した。自分の給与も半分カット？し、かみさんに怒られた。名古屋に住みませんか、商売やりませんかなどと訴えていた。底冷えする寒風に晒されながらも、聴衆は少なかったが熱弁に足を止めていた。マスコミが目立った。首都を変えねば思いは伝わる。橋下大阪市長が石原知事と連携？など右派的手法？の怖さも気になっても、お粗末大臣のアゲアシトリ、政局ばかりの国会では、期待もしたくなる。一億総クレマーやモンスターペアレント、利己主義と既得権のモウジャの世情にあって、都の震災ガレキの受け入れは光るものがある。政治にも世相にもウンザリする。不信感も極まり、無力感、閉塞感を払拭してくれるのではないかと期待する気持ち生まれてくる。公務員などの既得権や各種の制度の無駄（金）の打破を始めている大阪、名古屋に乗って見たくもなる。怖い？選択もしたくもなる。軍国ファシズムへの暴走の要因は「リアリズムの喪失」であると司馬遼太郎が「この国かたち」で言っていると、先号に書いたが、エネルギー、復興、無駄（従来が不変）と増税などリアリテのあるものがない。権力のある無能が一番怖い。



＜旧芝離宮恩賜庭園＞ポケモンセンターの帰りに。28日撮影

○いつも、メールを下さる人から”楽しい話題をお待ちしています“と言われていたのに、またこんな話にしてしまったと反省はしている。”農“の事とで楽しい話題が一番であるが、ネタ不足である。せめてクスクスと笑える様な下ネタを書こうと開高健や吉行淳之介の本を思い出してみたりして見たが、下ネタは難しい。メールをきっかけに、迷惑メールの事で言えば、上野千鶴子が子供頃に連呼し親が困ったと云う隠語が多用され、嘘でしかあり得



＜旧芝離宮恩賜庭園の牡丹＞28日撮影。

ないことが、小学生の作文の様な、きまじめな文体で書かれていたりする。また社会考察、統計データ？を使ったりする。内容は憚れるので書けないが、陰湿な湿度を持たない文体になっている。開高健や吉行淳之介の下ネタとは全く異質だが似たところがある。デリートしている時に、友人のメールと間違えて開いてしまい、稚拙な素直さに、ニヤとしながら読んでしまう事がある。罨を承知しながらも憎めないものがある。源氏物語の文化を持った国、空海が最澄に見せるのを拒んだという“理趣経”の真意？（「この国かたち」5巻）、神話の神様はHである。護国豊穰の祭りにも民俗にも、である。大岡越前の母が火箸で灰までと教えた事など、楽しく学びたい？ものである。

**\*畑の畔のオイヌノフグリのブルー美しい。しばらくは農閑期、心に養分をと思っている。**

**\*笠間に、kogure農場にお越し下さい。**

【特に編集せずランダムな構成にします】

発行者；Kogure農場・小暮

住所；笠間市本戸4201-10

携帯電話：090-9333-4135

メール；[torao-k@nifty.ne.jp](mailto:torao-k@nifty.ne.jp)

HP；<http://homepage3.nifty.com/toragigi/>